

17 万人の起業家が出場する国際大会  
Entrepreneurship World Cup の日本代表に選出

<https://www.global-mobility-service.com/>

自動車を所有できない世界の貧困/低所得層 約 17 億人に向け、IoT 技術を活用した信用創造サービスを提供する金融包摂型 FinTech ベンチャー・Global Mobility Service 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中島 徳至 以下「GMS」）は、世界の起業家が出場する国際的な大会である Entrepreneurship World Cup（以下「EWC」）の日本最終予選「EWC Japan 2021 National Finals」にて優勝し、日本代表に選出されたことをお知らせいたします。



EWC は、Misk Global Forum と、Global Entrepreneurship Network（以下「GEN」）、The Global Education & Leadership Foundation が共催する、世界中のスタートアップ企業が参加する大会です。これまでに 200 以上の国と地域から約 175,000 人の起業家が参加し、勝ち抜いたスタートアップ企業に対して、アクセラレータープログラムや資金調達の機会を提供してきました。

今秋に予定されている世界大会への出場企業を決めるための今回の日本最終予選「EWC Japan 2021 National Finals」は、GEN Japan と Japan Innovation Network、EWC の公式パートナーである CIC Tokyo によって開催されました。その中で、GMS が展開する FinTech サービスは、それを支える技術力とビジネスのグローバル性に加えて、貧困などの社会課題を解決している点が高く評価され、日本代表として選出されました。

GMS は、今後も、SDGs の中でも最重要課題とされる「貧困」などの社会課題を解決する中に経済合理性を創出し、真の意味で「サステイナブル」なビジネスモデルを日本及び ASEAN 諸国でより一層推進してまいります。GMS の取り組みの様子はこちらの映像をご覧ください (<https://youtu.be/XB869tmWZIM>)。

これからの GMS の取り組みに、どうぞご期待ください。



※プレスリリースに掲載されている内容、資本関連、サービス、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。

#### ■Global Mobility Service 株式会社の概要

GMS は「真面目に働く人が正しく評価される仕組みを創造する」をビジョンに掲げ、世界の貧困/低所得層 約 17 億人の信用創造を行う金融包摂型 FinTech ベンチャーです。自動車の遠隔起動制御技術を搭載した IoT デバイス「MCCS」で収集した車両データ（走行状況、速度等）と金融機関と連携して取得した金融データ（支払い状況等）を分析することで、ドライバーの信用力を可視化し、従来の与信審査には通過できなかった方へ、ローンやリースなどの金融サービスを活用する機会を創出します。

日本国内及び ASEAN 諸国（フィリピン/カンボジア/インドネシア）において低所得層の就業機会を創出する社会解決型のビジネスモデルが評価され、2020 年 10 月時点で累計約 56 億円の資金調達を実施しています。貧困などの問題を解決する中に経済合理性を創出したビジネスモデルにより、豊かな社会の実現に向けて、国際社会に貢献してまいります。

会社名	Global Mobility Service 株式会社
代表者	代表取締役社長 中島 徳至
所在地	東京都港区芝大門 1 丁目 12 番 16 号 住友芝大門ビル 2 号館 4 階
事業内容	モビリティサービスプラットフォームの提供 クラウド上に蓄積したビッグデータの二次活用サービス
設立日	2013 年 11 月 25 日

®登録商標 GMS、MCCS、MSPF は登録商標です。